学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
① 学生の確保の見通し
ア 定員充足の見込み p. 1
イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 p. 2
ウ 学生納付金の設定の考え方 p. 2
② 学生確保に向けた具体的な取組状況
ア　オープンキャンパスの開催 p. 3
イ　入試アドバイザーによる高等学校訪問 p. 3
ウ　教員による高等学校訪問 p. 4
エ　職員による進学相談会参加 p. 4
オ　教員による模擬授業の実施 p. 4
カ　高等学校教員対象大学説明会 p. 4
キ　その他 p. 5

2. 人材需要の動向等社会の要請
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） p. 5
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 p. 6

資料目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

日本の食文化に対する関心の高まり、中食の利用といった食の外部化、さらには少子高齢化や疾病構造の変化が進む我が国において、人々はより一層、食を通じて「健やか」で「豊か」に生きることを目指すようになっている。

このような社会状況の下で、衣・食・住・もの 4 分野を学ぶことができる現代生活学部生活デザイン学科（入学定員 120 名）の学生を対象として平成 28 年 4 月に実施した主要希望分野調査の結果、食分野の希望はすべての学年で 40～53%を占め、さらに分野選択の実態を示す卒業研究配属状況では平成 25 年から 28 年までの 4 年間で食分野が 37～42%を占めていた（資料１　生活デザイン学科における食分野希望状況）。

このことから、従来の本学の志望者層に限っても、入学時から最終学年（4 年次）を通して、食分野は主要なニーズを確保していることが明らかである。この希望者数は、栄養士という食の専門家としての資格が取得できない現時点での実績であり、今後、教育内容が直接高校生や社会に伝わる学科名として「食物学科」を掲げ、上記の特長を有する食に関するプロフェッショナルを養成する栄養士養成施設設置が認可されれば、現状を遙かに上回る入学志願者を確保することが可能であると確信している。

上記のような社会的背景及び本学における食分野の志望動向を勘案し、入学定員を 70 名と設定した。また、これらの動向に加え、第三者機関によるニーズ調査報告（資料 2　東京家政学院大学「現代生活学部食物学科」「人間栄養学部人間栄養学科」設置に関するアンケート調査【高校生対象調査】結果報告書）を踏まえ、入学定員の充足は十分可能であると判断している。

基本計画書の既設大学等の状況において、定員超過率が 0.7 倍未満の学科として人間福祉学科と生活デザイン学科の 2 学科がある。

人間福祉学科については過去 4 年間の定員超過率平均が 0.26 倍となっているため、平成 30 年度の学生募集を停止し、これまで積み重ねてきた福祉分野の成果や地域との繋がりを、他学科の教育・研究に活かし、その内容をより魅力的にすることとしている。

また、生活デザイン学科については同じく過去 4 年間の定員超過率が 0.68 倍となっている状況を踏まえ、平成 30 年度は、入学定員を 120 名から 80 名とし、なおかつカリキュラムの全面的な見直しを行い、衣分野・住分野の強化を図るとともに、グローバルコミュニケーション（国際・言語・情報）、コミュニティデザイン（地域・ビジネス・園芸）の分野を設け、新たな志願者層の確保に繋げる。また、家庭科、食文化、ものづくりや前述の福祉分野など生活に関する基礎・実践領域を充実させることにより、学びの分野、育てる人物像、取得できる資格、将来の進路等をより明確に高校生・保護者に示し、入学定員の確保を図る。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

「現代生活学部食物学科」の設置を検討するにあたり、長期・安定的な学生確保が可能であることについて根拠となる客観的なデータの収集・検証を目的として、キャンパスエリアを中心とした関東1都5県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・栃木県・静岡県）を所在地とする高等学校48校に調査協力を依頼した。調査対象としたのは、これらの高等学校に在籍している高校生（開設予定年度に入学となる高校 2 年生（調査時）の女子生徒）で、アンケート形式による調査の実施、回答データの収集・集計等は専門の調査機関に依頼した。

調査期間は平成 28 年 11 月 14 日から同年 12 月 1 日で、調査依頼校 48 校・依頼数 6463 件のうち、全体の 61.7%にあたる、36 校分 3989 件が回収された。調査対象となった高校生の中で、「食物学科」を受験し合格したら入学したいと回答した生徒は 134 名あり、予定されている入学定員（70 名）を上回る結果を得た。また、高校卒業後の希望進路を勘案し、私立大学進学希望者（2351 名）に限って「食物学科」への入学意向者を見ても、その 3.5%にあたる 82 名が入学意向を示しており、入学定員（70 名）を上回る。さらに、「食物学科」と関係の深い学問系統である、生活科学（食物・栄養学）に関心のある生徒（645 名）に限って「食物学科」への入学意向者を見ても、その 15.0%にあたる 97 名が入学意向を示しており、予定されている入学定員（70 名）を上回ることが明らかとなった。

以上のことから、客観的なデータに基づいて、学生確保においては十分な見通しがあると判断した（資料 2　東京家政学院大学「現代生活学部食物学科」「人間栄養学部人間栄養学科」設置に関するアンケート調査【高校生対象調査】結果報告書）。

ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金の設定にあたっては、本学の資源を最大限に利用することを前提に、設定した学生数と教員数及び必要となる施設設備等を基礎とし、また、近年の経済環境及び各家庭の経済状況を考慮して設定した。また、食物学科の充実した教育・研究の実現及び大学の健全な運営を継続するために、最低限の収入額の確保が必要なことから、学生納付金を以下のとおりとした。

学年	入学金	授業料	施設設備費	合計
1 年	250,000 円	770,000 円	310,000 円	1,330,000 円
2 年次以降	－	770,000 円	310,000 円	1,080,000 円

本学の納付金は、調査した大学と比較すると、初年度納付金、及び 2 年目以降の納付金ともに妥当である。従って競合の可能性がある近隣大学と比べて合理的な範囲であること、また、この納付金の設定は、食物学科を希望する受験生の許容範囲であると考える。

② 学生確保に向けた具体的な取組状況

ア　オープンキャンパスの開催

本学では学科の教育内容、学生の雰囲気やキャンパスライフ、さらには必要な費用や就職状況等、志願者・保護者が強い関心を持つ内容を、直接、具体的に説明できる機会として、在学生をスタッフに加えて運営するオープンキャンパスを積極的に展開している。

従来のオープンキャンパス実施状況を踏襲し、平成 29 年度は、「食物学科」が設置予定の町田キャンパスで 9 回、別キャンパスではあるが同様に学科広報を展開する千代田三番町キャンパスにおいて 9 回の合計 18 回を計画している。この中には、町田キャンパスにおける KVA 祭（学園祭）時の進学相談会（2 回）、千代田三番町キャンパスにおけるローズ祭（学園祭）時の進学相談会（1 回）が含まれている。開催日によって実施する内容に多少の変化はあるが、副学長による大学紹介、学科教員による個別進学相談、保護者説明会、体験授業、キャンパスツアー、参加学生による各種イベント、サークルイベントの他、担当職員による学生生活紹介（学費・奨学金説明）や就職状況説明、さらには担当教員による小論文対策講座、予備校教員による一般入試対策講座などが予定されており、志願者・保護者に学科の特徴や雰囲気を詳細に伝え、受験にあたっての相談に細やかに対応する計画である。平成 28 年度実施のオープンキャンパス参加者数は延べ 2448 名（町田キャンパス 685 名、千代田三番町キャンパス 1763 名）となっており、平成 29 年度はより積極的にオープンキャンパスに関する広報を展開し、平成 28 年度以上の参加者を確保する計画である。

なお、オープンキャンパス時に説明する内容や配付資料の情報には十分に配慮し、各種手続き段階での許容範囲を超えることがないよう、事前に教職員で綿密な打ち合わせを行うこととしている。

イ　入試アドバイザーによる高等学校訪問

平成 29 年度には、従来、教職員の訪問対象となっていなかった高等学校を中心に、本学学科の教育上の特徴や就職状況、さらには入試概要等を説明するために、外部の専門スタッフによる高等学校訪問を実施する。実施対象校は、その高等学校のランク、生徒構成、進学実績等を勘案し、町田キャンパスを中心（通学 1 時間圏）とした約 200 校、同じく千代田三番町キャンパスを中心（通学 1 時間圏）とした約 200 校の合計約 400 校を選定し、5 月からの訪問を実施する。この訪問では、まず東京家政学院大学の知名度向上を重要な目的とするが、基本的に同一高等学校に 2 回以上の訪問を原則とすることで、本学の教育内容に興味・関心を持つ生徒への情報伝達をし、潜在的な志願者数増に結びつくよう訪問計画を策定している。

なお、平成 27 年度に実施した入試アドバイザーによる高等学校訪問（575 校）により、従来、入学者がなかった高等学校からの本学への進学があったという実績がある。

ウ　教員による高等学校訪問

本学への入学実績を元に、大学として最重要校、各学科が重点校を選定し、5 月から教員による高等学校訪問を計画している。例年、教員による高等学校訪問を実施しており、平成 28 年度においては、教員だけで最重要校 47 校、重点校 188 校を訪問している。平成 29 年度は、並行して入試アドバイザーによる高等学校訪問も行われるので、これと重複することがないよう十分に連絡・調整し、訪問を実施する。従来、訪問実績のある高等学校については、訪問後、詳細な訪問報告書の提出を義務づけており、これを参照して予め対象の高等学校の状況を熟知した上で訪問することができる。その中で、本学を紹介し、高等学校教職員の本学に対する理解・信頼の向上を図り、本学の教育内容や該当分野に興味・関心を持つ生徒への情報伝達を働きかけることに効果をあげている。

エ　職員による進学相談会参加

業者企画への参加や高等学校からの依頼等に積極的に対応し、職員を中心に進学相談会に参加する計画である。例年、進学相談会に参加し、相談を行っている。平成 28 年度は、高等会場・一般会場での参加件数が合計 230 件、相談数は合計 2110 件の実績がある。

平成 29 年度は、これらの実績を上回る件数を想定し準備している。これらの相談会では、直接、ブースを訪れた高校生・保護者への説明を行っている。相談者は積極的に関心のある大学のブースを訪問するので、「食物学科」の教育内容や取得資格等を詳細に説明することができる。このような機会を積極的に活用し、志願者の確保に繋げていきたい。

オ　教員による模擬授業の実施

高等学校の生徒に直接、学科の教育内容の魅力を伝えるために、模擬授業の依頼に対して積極的に対応する。模擬授業は高校生に大学の教育の雰囲気を伝えるのに極めて有効な機会であり、「食物学科」配属予定教員の専門分野や模擬授業テーマなどを一覧とした資料を作成し、高等学校に配布・広報する計画である。

カ　高等学校教員対象大学説明会

「食物学科」の設置計画の進行状況を勘案しつつ、隣接高校への周知・説明を目的として、6 月 20 日（火）及び 22 日（木）に高等学校教員対象説明会を計画している。特に、町田キャンパス周辺の高等学校をターゲットとして開催する 6 月 20 日の説明会は、利便性の高い横浜線・橋本駅に隣接する施設での実施を予定している。また、22 日の

説明会は交通の利便性の高い千代田三番町キャンパスでの開催を予定している。これらの説明会では、単に「食物学科」の内容紹介に留まらず、設置計画の進行状況報告や新学科の入試制度、学生支援体制等について詳しく説明する。

また、各高等学校の進路指導担当者との個別相談の機会を設け、高等学校との情報交換を密にして、本学科の特徴を理解した適切な志願者確保に務めることとしている。

キ　その他

進学情報誌や進学情報サイト、周辺鉄道路線における車内・構内広告等の交通広告、大学ホームページ、大学案内、学科パンフレット、さらには地域連携活動を通じての記念イベント等の開催による広報等を行う。これらの広報を通じて、高校生のみならず、その保護者、高等学校関係者、さらには社会一般への周知・認知向上に向けた多様な取組を実施し、志願者確保に繋げていく。

特に、近隣（町田市・相模原市）の高大連携協定高等学校からは本新設学科に対する期待が寄せられており、新たな具体的な学びの内容を加えた高大連携活動をさらに強化する中で、連携協定高等学校を追加・充実する計画である。これらの対策を活用して、新設学科の周知と志願者確保を効果的に進めていく。

2. 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

近年、食と健康に関する国民の関心が高まる中で、平成 25 年度を初年度とする 10 年計画として「第二次国民健康づくり運動（健康日本 21（第二次））」が推進されており、この中で、健康を支え・守るための社会環境の整備等が基本的な方針に据えられている。

これを達成するためには栄養・食生活などの生活習慣の改善が重要であるとの観点から、食生活に関する専門的技能を有する人材の養成、企業や民間団体との協働による体制整備等の取組が行われている。ここでいう専門的技能を有する重要な人材の一つとして栄養士が挙げられ、特に、企画力及び調整の能力を持ち、地域や企業における活動に積極的に携わることのできる栄養士への期待は高い。まさに、このような社会的ニーズに応えるため、栄養・食生活などの生活習慣の改善指導等を担当でき、さらには中学や高等学校といった教育現場での食育の推進についても積極的に関与できる専門的技能を有する人材＝栄養士の養成が急務である。

そこで、知・徳・技のバランスを重視する建学の精神に基づき、生活者の視点から生活に関わる広い分野を対象とする現代生活学部の中で、主として生活デザイン学科で扱っていた「食」の領域を、栄養士養成が可能な「食物学科」として設置するものである。「食物学科」では、「食」に関する諸問題をより専門的に学び、「食」について探求し、課題を発見し、解決能力を有する人材を養成する。具体的には、①食品生産・食品加工の場、②食品の流通の場、③外食の場、そして教育現場も直結する④食のあり方を

伝える場で活躍する専門家を養成する。このことで、食生活全般を総合的・包括的にサポートできる「食」の専門家として、多様な価値観を持つ社会に対応できる食品の開発ができ、地域社会における食育、食育推進に指導的な役割を果たせる人材の育成を目指す。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

「食物学科」で養成を目指す栄養士の社会的状況として、継続して栄養士として活動している数は未だに十分ではなく、今後も潜在的な需要が見込まれる点が挙げられる。例えば、栄養士が活躍する職域として最も期待される特定給食施設について、本学の所在地である東京都では、特定給食施設及びその他の給食施設あわせて約 9200 施設の中で約 6800 人の栄養士が活躍しているものの、約 3300 施設では管理栄養士・栄養士のどちらも配置されていない状況がある。健康日本 21（第二次）では、利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加として、管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合を平成 34 年度までに 80％まで増やすことを目標としており、社会環境の整備が進む中で、栄養士の需要増加を見込むことができる。

加えて、上記①のように食品加工・食品流通・外食の場で活躍できる人材の養成を目指していることから、栄養士としての資格を必要としない食品開発の場からも、強い希望が寄せられており、地域・企業連携の一環で共同食品開発を進めている地域のスーパーマーケットから本学校法人に要望書が出されている（資料 3)。さらには、町田市の産業振興の中核で、人材雇用の確保等にも注力している町田商工会議所からも、要望を頂いており（資料 4)、周辺の地域・企業等からの期待は大きい。

「食物学科」の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が人材需要等社会の要請を踏まえたものであることについて、さらに客観的な根拠を得ることを目的として、本学に求人情報を提供したことのある企業を中心に 1010 社を選び、アンケート調査を実施した。調査期間は平成 28 年 11 月 14 日から 11 月 30 日までで、全体の 25.3％にあたる 256 社より回答を得た。

その結果、「食物学科」の社会的必要性については 93.8%（240 件）が必要と回答、卒業生に対する採用意向についても 81.6%（209 件）が採用したいとの回答であった。

また、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的に沿って展開する「栄養士発展分野、食産業企画開発分野、栄養教育・教員養成分野を自分の興味関心に合わせて、広い分野の専門性を高めることができる」、「栄養士の知識に加えて国内外の食文化、食品開発に関わる知識が身につき、食のビジネスで活躍できる人材を育成する」について魅力を感じると回答した企業は、それぞれ 85.5%（219 件)、81.3%（208 件）と大きな割合を占める結果であった。

さらに「食物学科」の設置予定地である東京都の企業からの採用意向は 85.8%（121 件)、神奈川県所在の企業からの採用意向は 65.1%（28 件）で、この 2 都県だけで予定の入学定員 70 名を上回った。業種別では、卸売・小売業からの採用意向は 97.4%（37 件)、サービス業・複合サービス業からの採用意向は 100%（34 件）で、調査対象企業数は 30 余件に留まるものの、意向度としては極めて高い結果が出された。

以上のことから、客観的なデータに基づいて、「食物学科」の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は人材需要の動向等社会の要請・動向を踏まえているものと判断した（資料 5　東京家政学院大学「現代生活学部食物学科」「人間栄養学部人間栄養学科」設置に関するアンケート調査【企業対象調査】結果報告書)。

資料目次

資料１	生活デザイン学科における食分野希望状況	p. 1
資料２	東京家政学院大学 「現代生活学部 食物学科」 「人間栄養学部 人間栄養学科」 設置に関するアンケート調査 【高校生対象調査】 結果報告書	p. 2
資料３	東京家政学院大学食物学科設置に関する要望書	p. 21
資料４	食の安全・安心を目指す「栄養士養成課程」の設置に関する要望書	p. 22
資料５	東京家政学院大学 「現代生活学部 食物学科」 「人間栄養学部 人間栄養学科」 設置に関するアンケート調査 【企業対象調査】 結果報告書	p. 23

表1　生活デザイン学科分野別登録者数とその割合（平成28年4月）

学年	総数	食分野		衣分野		住分野		もの分野	
1	63	28	44.4%	6	9.5%	30	47.6%	5	7.9%
2	82	39	47.6%	21	25.6%	22	26.8%	5	6.1%
3	91	48	52.7%	16	17.6%	21	23.1%	7	7.7%
4	107	43	40.2%	22	20.6%	30	28.0%	12	11.2%

*登録者数は重複登録を含む

表2　生活デザイン学科卒業研究分野希望者数とその割合

年度	総数	食分野		衣分野		住分野		もの分野	
平成25	109	40	36.7%	29	26.6%	31	28.4%	9	8.3%
平成26	109	45	41.3%	23	21.1%	35	32.1%	6	5.5%
平成27	110	46	41.8%	24	21.8%	28	25.5%	12	10.9%
平成28	101	40	39.6%	21	20.8%	28	27.7%	12	11.9%

*希望者数は留学生を含む

資料2

東京家政学院大学
「現代生活学部 食物学科」
「人間栄養学部 人間栄養学科」
設置に関するアンケート調査
【高校生対象調査】
結果報告書

平成29年１月

株式会社　進研アド

© Shinken-Ad. Co., Ltd. All Rights Reserved.

高校生対象　調査概要

1. 調査目的

2018年4月に開設予定の東京家政学院大学「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」の新設構想に関して、高校生のニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生女子
調査エリア		栃木県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 （依頼校）	6,463 （48校）
	回収数 （回収率）	3,989（36校） （61.7%）
調査時期		2016年11月14日（月）～2016年12月1日（木）
調査実施機関		株式会社　進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
･性別 ･高校種別 ･高校所在地 ･所属クラス ･高校卒業後の希望進路 ･興味のある学問系統 ･「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」特色の魅力度 ･興味を惹かれる資格 ･「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」への受験意向 ･各学科への入学意向

高校生対象　調査結果まとめ

高校生対象　調査結果まとめ

回答者の属性

※ 本調査は、東京家政学院大学が新たに設置予定の「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」に対する需要を確認する目的の調査として設計した。そのため、東京家政学院大学の主な学生募集エリアである首都圏、および静岡県に所在する高校の高校2年生（設置年度に入学対象の学年）の女子に調査を実施し、3,989人から回答を得た。

- 回答者の性別は、「女性」が100.0%。
- 回答者の在籍高校種別は、「公立」が66.1%、「私立」が33.9%。
- 回答者の在籍高校所在地は、東京家政学院大学の学生募集の中心である「東京都」が30.9%、「神奈川県」が56.9%。
- 回答者の所属クラスは、「文系クラス（文系コース）」が44.5%で最も多く、次いで、「理系クラス（理系コース）」「コース選択はない」がそれぞれ19.9%で続く。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」が58.9%で最も高い。次いで、「専門学校・専修学校に進学」が32.7%。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「文学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む）」が18.5%で最も高い。次いで、「教員養成・教育学」（17.2%）、「芸術学（美術・デザイン、音楽など含む）」（16.9%）と続く。また、「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」と関連のある「生活科学（食物・栄養学）」は16.2%。

高校生対象　調査結果まとめ

「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」特色の魅力度

- 「現代生活学部 食物学科」の特色の魅力度（※）は、3項目全てにおいて5割を超える。中でも、「広い敷地に、実験・実習施設が配置され、勉強に集中できる環境が用意されています。」の魅力度は68.5％で、特色3項目中最も高い。
- 「人間栄養学部 人間栄養学科」の特色の魅力度（※）は、3項目全てにおいて6割を超える。中でも、「臨床栄養、食育・地域栄養ケア、スポーツ栄養、フードサービスの4つの分野の学びが用意されています。」の魅力度は63.2％で、特色3項目中最も高い。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

興味を惹かれる資格

- 興味を惹かれる資格を複数回答で聴取したところ、「栄養士」が42.9％で最も高い。次いで、「フードスペシャリスト・専門フードスペシャリスト」が34.4％、「管理栄養士（国家試験受験資格）」が32.9％と続く。

高校生対象　調査結果まとめ

「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」への受験意向／各学科への入学意向

- 「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」を「受験したいと思う」と答えた人は10.5％（417人）である。
- 「受験したいと思う」と答えた417人に、「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」を受験して合格したら入学したいと思うかを聴取したところ、回答は下記の通り。

  現代生活学部 食物学科 に入学したい：32.1％（134人）

  人間栄養学部 人間栄養学科 に入学したい：55.4％（231人）

  いずれも予定されている入学定員（「現代生活学部 食物学科」70人／「人間栄養学部 人間栄養学科」140人）を上回っている。

高校生対象　調査結果まとめ

「現代生活学部 食物学科」
受験意向別入学意向　属性別傾向

◇高校所在地別

- 「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」を「受験したいと思う」かつ「現代生活学部 食物学科 に入学したい」と答えた人（以降下線部を本頁内では「現代生活学部 食物学科への入学意向者」と表す）は、学生募集の中心である「東京都」「神奈川県」の高校在籍者では、それぞれ4.8％（59人）、2.7％（61人）である。

◇高校卒業後の希望進路別

- 東京家政学院大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」希望者からの「現代生活学部 食物学科への入学意向者」は3.5％（82人）と、予定されている入学定員（70人）を上回る。

◇興味のある学問系統別

- 「現代生活学部 食物学科」と関連のある「生活科学（食物・栄養学）」関心者からの「現代生活学部 食物学科への入学意向者」は15.0％（97人）と、予定されている入学定員（70人）を上回る。

高校生対象　調査結果まとめ

「人間栄養学部 人間栄養学科」
受験意向別入学意向　属性別傾向

◇高校所在地別

- 「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」を「受験したいと思う」かつ「人間栄養学部 人間栄養学科に入学したい」と答えた人（以降下線部を本頁内では「人間栄養学部 人間栄養学科への入学意向者」と表す）は、学生募集の中心である「東京都」「神奈川県」の高校在籍者では、それぞれ5.4%（66人）、5.3%（120人）である。

◇高校卒業後の希望進路別

- 東京家政学院大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」希望者からの「人間栄養学部 人間栄養学科への入学意向者」は7.1%（166人）と、予定されている入学定員（140人）を上回る。

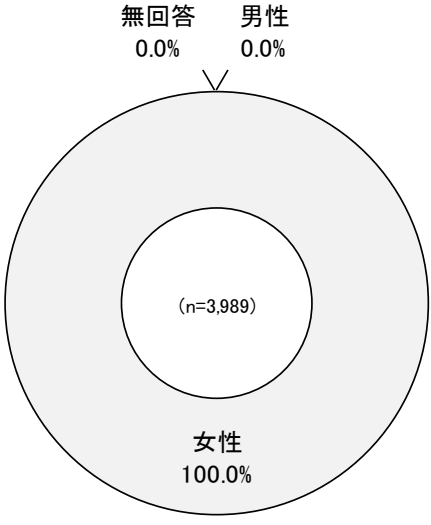
◇興味のある学問系統別

- 「人間栄養学部 人間栄養学科」と関連のある「生活科学（食物・栄養学）」関心者からの「人間栄養学部 人間栄養学科への入学意向者」は25.0%（161人）と、予定されている入学定員（140人）を上回る。

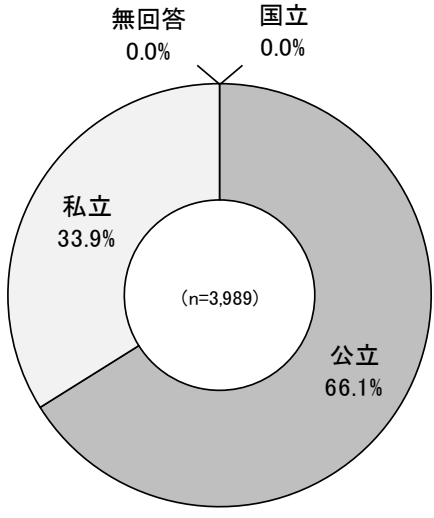
高校生対象　調査結果

回答者の属性（性別／高校種別／高校所在地／所属クラス）

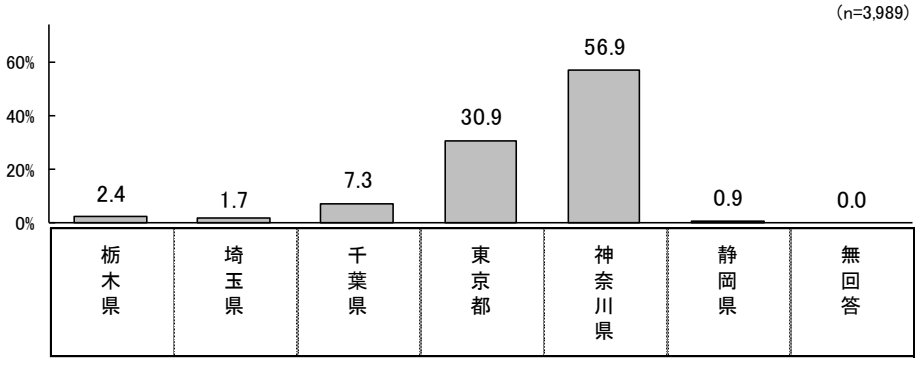
■性別



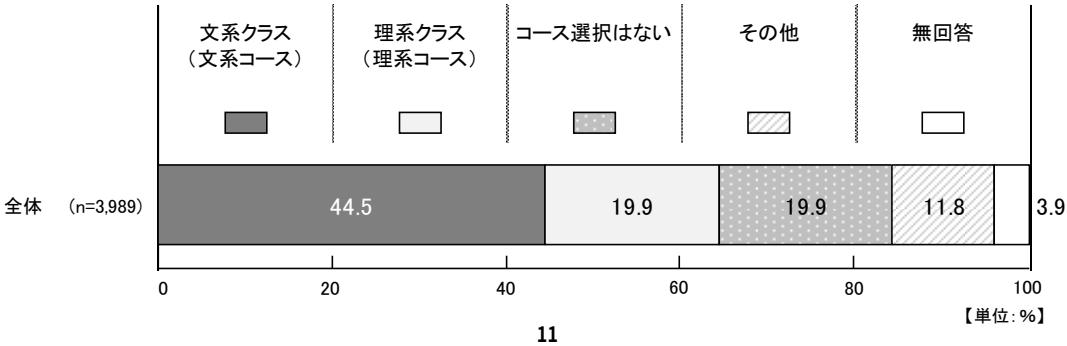
■高校種別



■高校所在地



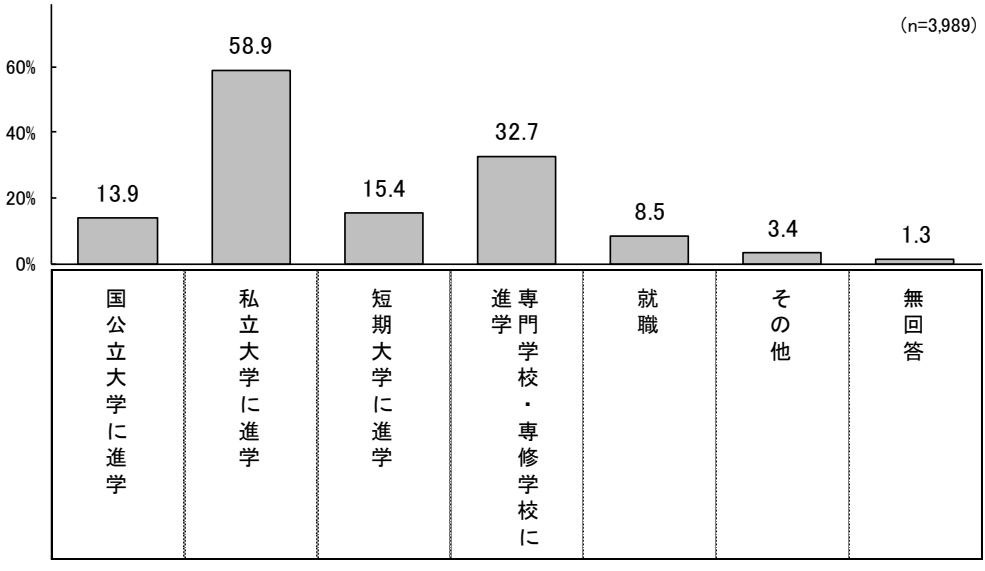
■所属クラス



高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

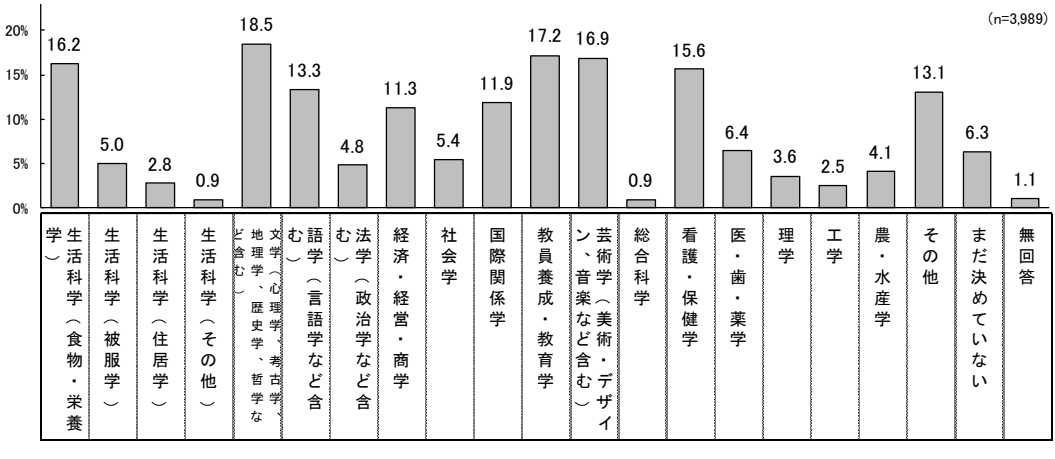
■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまるものすべてをお選びください。（いくつでも）



■興味のある学問系統

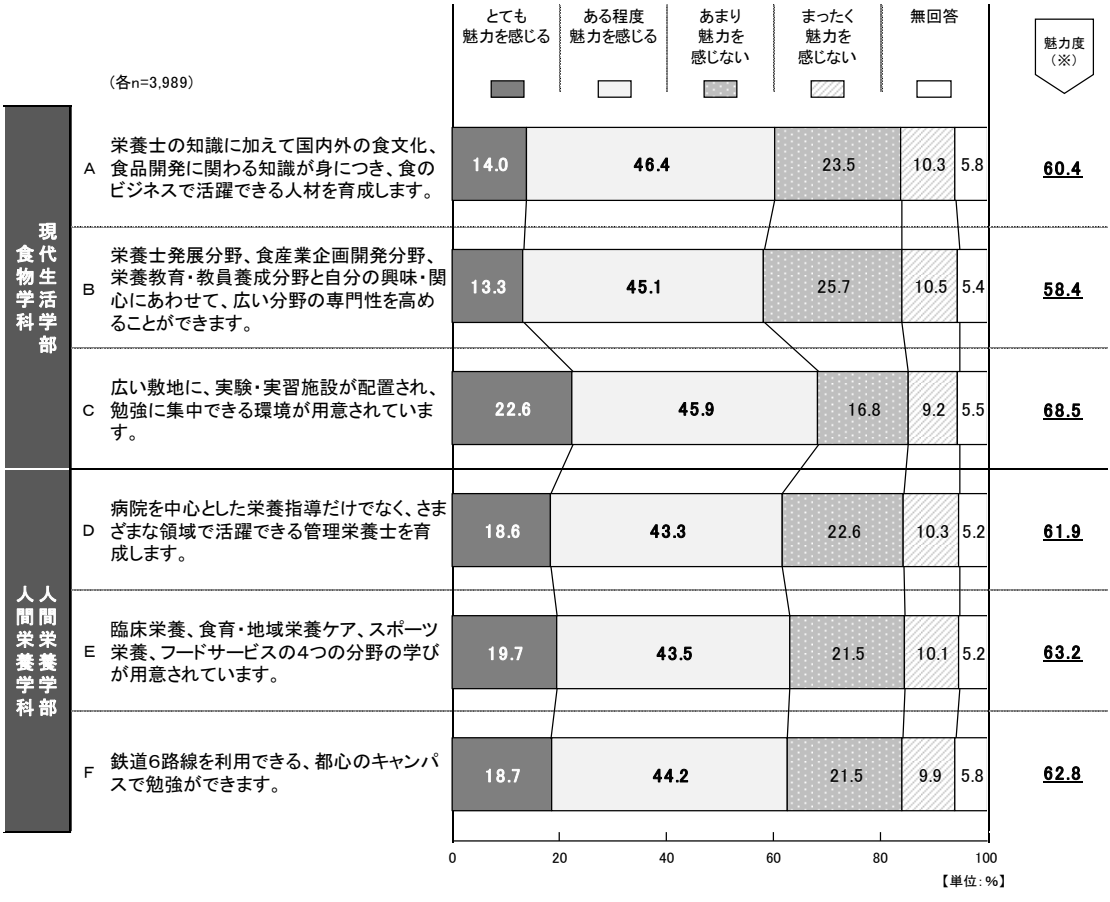
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統すべてをお選びください。（いくつでも）
（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。）



「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」特色の魅力度

■「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」特色の魅力度

Q3. 東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまるものを1つだけ）



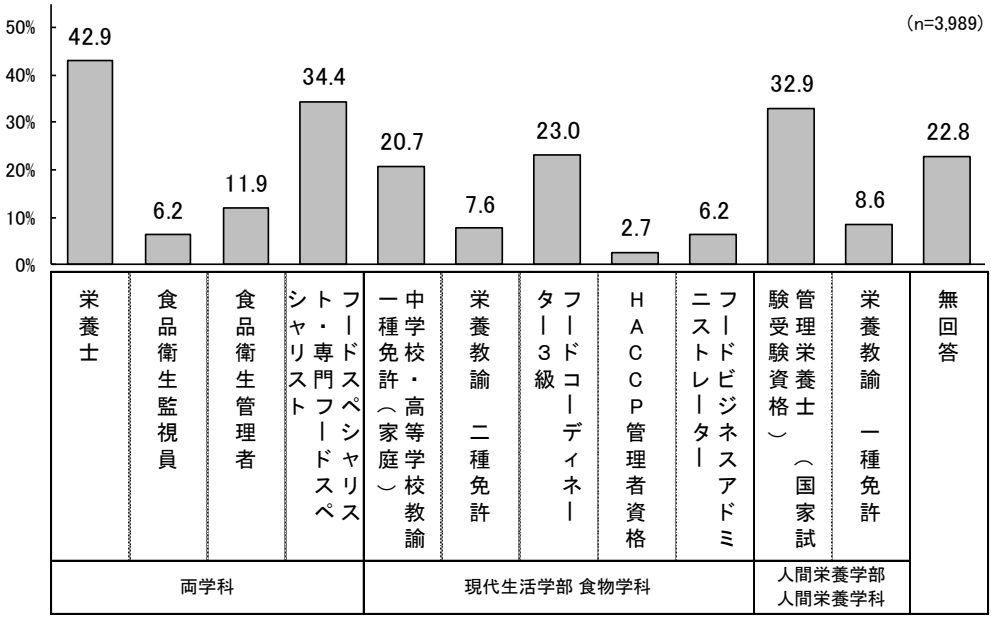
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

興味を惹かれる資格

■興味を惹かれる資格

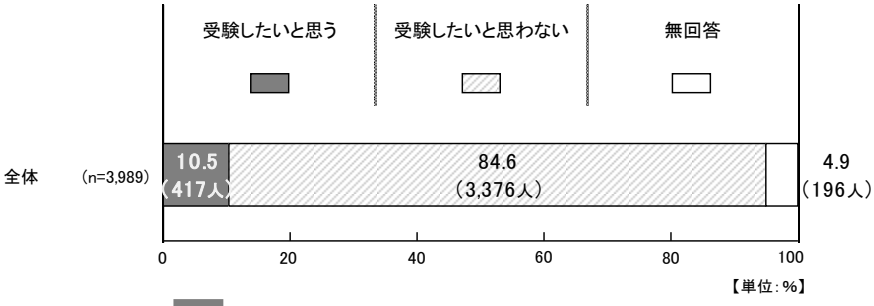
Q4. 東京家政学院大学「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）では、以下のような資格取得が目指せます。あなたが興味を惹かれるものすべてをお選びください。（いくつでも）



「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」への受験意向／各学科への入学意向

■「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」への受験意向

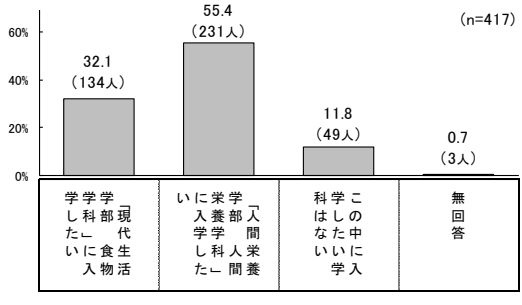
Q5. あなたは、東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。（1つだけ）



「受験したいと思う」と答えた417人のみ抽出

■各学科への入学意向

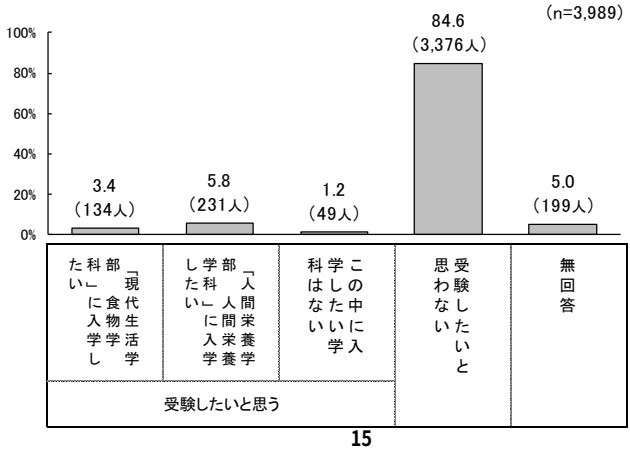
Q6. あなたは東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。（1つだけ）



※ Q5で「受験したいと思う」と答えた417人の回答

「受験意向（Q5）」と「入学意向（Q6）」をかけあわせて集計（母数は全回答者）

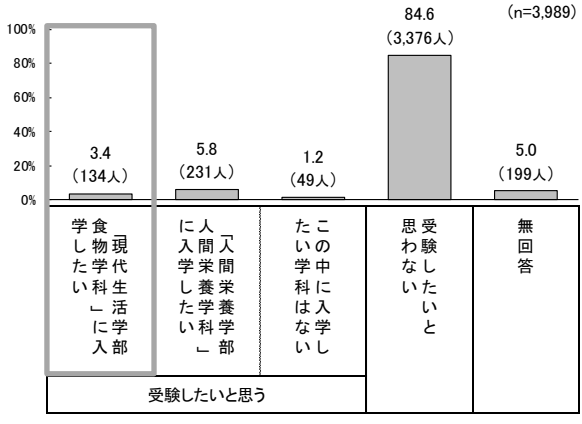
■各学科への受験意向別入学意向



＜属性別＞

■「現代生活学部 食物学科」への受験意向別入学意向

Q6. あなたは東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。（1つだけ）



＜属性別＞

				現代生活学部 食物学科 入学意向者数（※）
全体		(n=3,989)	3.4	134人
高校所在地別	栃木県	(n=96)	4.2	4人
	埼玉県	(n=66)	1.5	1人
	千葉県	(n=290)	1.7	5人
	東京都	(n=1,231)	4.8	59人
	神奈川県	(n=2,269)	2.7	61人
	静岡県	(n=37)	10.8	4人
高校卒業後の希望進路別	国公立大学に進学	(n=554)	4.9	27人
	私立大学に進学	(n=2,351)	3.5	82人
	短期大学に進学	(n=615)	5.5	34人
	専門学校・専修学校に進学	(n=1,305)	3.8	49人
	就職	(n=338)	3.0	10人
	その他	(n=135)	2.2	3人
興味のある学問系統別	生活科学（食物・栄養学）	(n=645)	15.0	97人
	生活科学（被服学）	(n=199)	12.1	24人
	生活科学（住居学）	(n=113)	11.5	13人
	生活科学（その他）	(n=34)	14.7	5人
	文学	(n=738)	2.3	17人
	語学	(n=532)	2.6	14人
	法学	(n=192)	1.6	3人
	経済・経営・商学	(n=452)	2.7	12人
	社会学	(n=217)	1.8	4人
	国際関係学	(n=476)	2.3	11人
	教員養成・教育学	(n=686)	2.6	18人
	芸術学	(n=674)	3.4	23人
	総合科学	(n=35)	0.0	0人
	看護・保健学	(n=623)	2.6	16人
	医・歯・薬学	(n=257)	2.7	7人
	理学	(n=142)	4.2	6人
	工学	(n=98)	2.0	2人
	農・水産学	(n=165)	8.5	14人

0　20　40　60　80　100

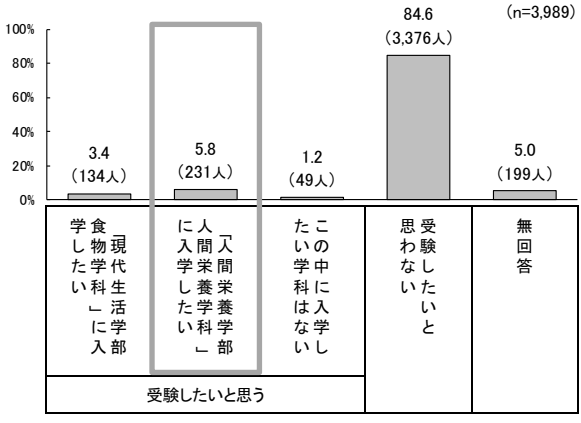
【単位：%】

※入学意向者数＝「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」を「受験したいと思う」かつ「現代生活学部 食物学科に入学したい」と回答した人の人数

＜属性別＞

■「人間栄養学部 人間栄養学科」への受験意向別入学意向

Q6. あなたは東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。（1つだけ）



＜属性別＞

				人間栄養学部 人間栄養学科 入学意向者数（※）
全体		(n=3,989)	5.8	231人
所在地別 高校	栃木県	(n=96)	10.4	10人
	埼玉県	(n=66)	15.2	10人
	千葉県	(n=290)	6.6	19人
	東京都	(n=1,231)	5.4	66人
	神奈川県	(n=2,269)	5.3	120人
	静岡県	(n=37)	16.2	6人
高校卒業後の希望進路別	国公立大学に進学	(n=554)	6.1	34人
	私立大学に進学	(n=2,351)	7.1	166人
	短期大学に進学	(n=615)	8.8	54人
	専門学校・専修学校に進学	(n=1,305)	5.1	67人
	就職	(n=338)	3.3	11人
	その他	(n=135)	1.5	2人
興味のある学問系統別	生活科学（食物・栄養学）	(n=645)	25.0	161人
	生活科学（被服学）	(n=199)	10.6	21人
	生活科学（住居学）	(n=113)	8.0	9人
	生活科学（その他）	(n=34)	0.0	0人
	文学	(n=738)	4.2	31人
	語学	(n=532)	3.2	17人
	法学	(n=192)	3.1	6人
	経済・経営・商学	(n=452)	4.0	18人
	社会学	(n=217)	4.1	9人
	国際関係学	(n=476)	2.3	11人
	教員養成・教育学	(n=686)	4.5	31人
	芸術学	(n=674)	4.2	28人
	総合科学	(n=35)	0.0	0人
	看護・保健学	(n=623)	6.3	39人
	医・歯・薬学	(n=257)	8.2	21人
	理学	(n=142)	3.5	5人
	工学	(n=98)	2.0	2人
	農・水産学	(n=165)	10.9	18人

0　20　40　60　80　100

【単位：%】

※入学意向者数＝「現代生活学部 食物学科」「人間栄養学部 人間栄養学科」を「受験したいと思う」かつ「人間栄養学部 人間栄養学科に入学したい」と回答した人の人数

巻末資料　調査票

高校生対象　調査票

16021

No.

東京家政学院大学
「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」
（いずれも仮称、設置構想中）に関するアンケート

東京家政学院大学では2018年（平成30年）4月より、「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称）を新設することを構想しています。
このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、東京家政学院大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。
つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。
※ **このアンケートや同封した資料に記載されている「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。**

記入の方法

1.回答は、あてはまる項目の□枠に✔をつけてください。
2.この用紙は、電算処理しますので、汚さないようにしてください。
3.記入にあたっては、必ず鉛筆またはシャープペンシルで濃く書いてください。
4.質問により、1つだけ答えるものと、複数答えるものがあります。
5.下記の【良い記入例】にしたがって記入してください。

【記入例】
Q.あなたは、どのような学部に興味がありますか。（いくつでも）

良い記入例：☑ 文学　□ 法学　□ 社会学　□ 語学　☑ 国際関係

悪い記入例：□ 文学　□ 法学　□ 社会学　■ 語学　□ 国際関係

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別（1つだけ）	□ 女性	学年（1つだけ）	□ 高校2年生	※ 本アンケートは高校2年生の女子を対象としています。
在籍している高校名	高校所在地 [　　] □ 都　□ 道　□ 府　□ 県（←1つだけ）			
	□ 国立　□ 公立　□ 私立（←1つだけ）[　　] 高等学校			
所属クラス（1つだけ）	□ 文系クラス（文系コース）　□ 理系クラス（理系コース）　□ コース選択はない　□ その他			

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまるものすべてをお選びください。（いくつでも）

- □ 国公立大学に進学
- □ 私立大学に進学
- □ 短期大学に進学
- □ 専門学校・専修学校に進学
- □ 就職
- □ その他

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統すべてをお選びください。（いくつでも）
（現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。）

- □ 生活科学（食物・栄養学）
- □ 生活科学（被服学）
- □ 生活科学（住居学）
- □ 生活科学（その他）
- □ 文学（心理学、考古学、地理学、歴史学、哲学など含む）
- □ 語学（言語学など含む）
- □ 法学（政治学など含む）
- □ 経済・経営・商学
- □ 社会学
- □ 国際関係学
- □ 教員養成・教育学
- □ 芸術学（美術・デザイン、音楽など含む）
- □ 総合科学
- □ 看護・保健学
- □ 医・歯・薬学
- □ 理学
- □ 工学
- □ 農・水産学
- □ その他
- □ まだ決めていない

高校生対象　調査票

16022

◆東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）についてお聞きします。

東京家政学院大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2018年（平成30年）4月に、新しく「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称）を設置することを構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q3. 東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）には、以下のような特色があります。あなたはどの程度魅力を感じますか。（それぞれ、あてはまるものを1つだけ）

					とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
	例.		○○である。	→	□	✔	□	□
現代生活学部	食物学科	A.	栄養士の知識に加えて国内外の食文化、食品開発に関わる知識が身につき、食のビジネスで活躍できる人材を育成します。	→	□	□	□	□
		B.	栄養士発展分野、食産業企画開発分野、栄養教育・教員養成分野と自分の興味・関心にあわせて、広い分野の専門性を高めることができます。	→	□	□	□	□
		C.	広い敷地に、実験・実習施設が配置され、勉強に集中できる環境が用意されています。	→	□	□	□	□
人間栄養学部	人間栄養学科	D.	病院を中心とした栄養指導だけでなく、さまざまな領域で活躍できる管理栄養士を育成します。	→	□	□	□	□
		E.	臨床栄養、食育・地域栄養ケア、スポーツ栄養、フードサービスの4つの分野の学びが用意されています。	→	□	□	□	□
		F.	鉄道6路線を利用できる、都心のキャンパスで勉強ができます。	→	□	□	□	□

Q4. 東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）では、以下のような資格取得が目指せます。あなたが興味を惹かれるものすべてをお選びください。（いくつでも）

【両学科】

- □ 栄養士　※主に健康な方を対象に栄養指導や給食の運営の仕事を行う資格
- □ 食品衛生監視員　※全国の主要な海・空港の検疫所で、輸入食品の安全管理等の仕事を行う資格
- □ 食品衛生管理者　※食品・添加物の製造又は加工を行う施設で衛生管理の仕事を行う資格
- □ ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ・専門ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ　※食のおいしさ、楽しさ、おもてなしに関わる学問を中心に幅広い食に関する知識や技術を測る資格

【現代生活学部　食物学科】

- □ 中学校・高等学校教諭　一種免許（家庭）
- □ 栄養教諭　二種免許
- □ ﾌｰﾄﾞｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ3級　※食の楽しみ方や食環境など、食の情報を提案する仕事に関わる入門資格
- □ HACCP管理者資格　※食品の製造・加工工程で起りうる汚染等の危害を事前に分析、対策を考え管理する仕事を行う資格
- □ ﾌｰﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰﾀｰ　※食に関するビジネスにおいて、管理者・経営者として活躍できるノウハウを修得したことを示す学内資格

【人間栄養学部　人間栄養学科】

- □ 管理栄養士（国家試験受験資格）　※病気や高齢で食事がとりにくい方、健康な方一人ひとりに合わせ栄養指導や給食管理を行う仕事の資格
- □ 栄養教諭　一種免許

Q5. あなたは、東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。（1つだけ）

- □ 受験したいと思う
- □ 受験したいと思わない

Q6. あなたは東京家政学院大学「現代生活学部　食物学科」「人間栄養学部　人間栄養学科」（いずれも仮称、設置構想中）を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いもの1つをお選びください。（1つだけ）

- □ 現代生活学部　食物学科 に入学したい
- □ 人間栄養学部　人間栄養学科 に入学したい
- □ この中に入学したい学科はない

＊＊＊質問は以上です。ご協力ありがとうございました。＊＊＊